

令和4年度第2回千葉市公園等活用事業者選定委員会 議事録

1 日 時： 令和5年1月6日（木）14時00分～16時01分

2 場 所： 千葉市動物公園科学館1階 レクチャールーム

3 出席者：

- (1) 委 員 朝倉 はるみ委員（委員長）、山崎 誠子委員（副委員長）、
池邊 このみ委員、鈴木 敦子委員、吉村 類委員
- (2) 事務局 鏑木動物公園長、木津動物公園副園長、動物公園職員2名
橋本都市総務課長、関谷都市総務課長補佐、都市総務課職員1名

4 議 題：

「動物公園子どもゾーン（ふれあい動物の里）整備・運営事業」に係る業務の
企画提案書の審査及び評価

5 議事概要：

「動物公園子どもゾーン（ふれあい動物の里）整備・運営事業」について、資料
1 企画提案項目及び選定基準に基づき、行催事等の運営に関する事項、乗馬広場
の運営に関する事項、教育普及業務の運営に関する事項、飲食物販に関する事
項、事業全体に関する事項等について審査した結果、ワールドインテック株式会
社は事業予定者として認められた。

市への意見等報告内容については、委員長と事務局による調整とした。

6 会議経過（企画提案書に対する質疑応答並びに審査及び評価結果）：

（1）質疑応答

（池邊委員）

ゲリラ豪雨発生時等に、どのような所に避難ができるのか。展望デッキの多目
的室の中に、それだけの収容人数が避難できるのか。

（回答）

ゲリラ豪雨の緊急時の来園者の避難誘導の場所については、展望デッキの1階
の他に2階部分も屋根があるので、こちらへのご案内が可能である。

例えば、そこで展望デッキ1階の2倍分のお客様はご案内できるかと考えてい
る。他にも、屋根付き休憩所も屋内施設なので、こちらにもそれなりの人数のお
客様を案内できるかと考えている。

また新たに今回、団体指導用の場所として、台風でも耐えられるようにテント
を設ける。約10メートル四方のものを検討しているが、そちらにもお客様をご

案内できると考えているので、そういった形でゲリラ豪雨など緊急時にはお客様を御案内したいと考えている。

また、緊急時マニュアルを整備している。ゴールデンウィークなどは、本当にたくさんのお客様に来ていただけるので、事前にネット等で天気予報を絶えず確認するようにしている。お客様になるべく早く避難誘導ができるような形をとっていきたい。土曜、日曜日については特に計画の中で人員の方を增強しているので、しっかりと対応できるチームを整えている。

○鈴木委員

事業計画についての質問。当期純利益が上がった場合に10パーセントを施設設備に還元するというお話だが、毎年少しずつ還元するというよりは、数年分をまとめて、何か模様替えをすとか、新しい動物が入ってくるとか、何か新しいことにまとめて投資できないか。

(回答)

自己資金で2,090万の投資を初年度に行うことを考えている。

来年から、6年目に、キッズパーク等をまた新たに行いたいと考えている。様式5の資金調達計画書に書いており、6年目に追加遊具の形で、200万円程度の追加投資を検討している。その収益で、計画で収益が発生した場合、10%相当を還元する形でさせていただく。その具体的内容は、納金というよりは、「ふれあいの里」に対して設備投資で還元することを考えている。

○山崎委員

安定した運営が見込まれると思うが、千葉市動物公園ならではのもの、キッチンカーというのもどこにでもあり、落花生など、千葉市の産業や供給者、地域の方々と交流する場があると良いのではないか。

(回答)

今後の新たな取組として、マーケットイベントの実施を検討している。

特に千葉市内で活動されている方々を中心に招致して、千葉市の地元製品を使ったクラフトなどを提供できるイベントができないかと思っている。

○山崎委員

全国の様々な事例を見てきたが、必ずその土地なりの名物のものがあるので、千葉市ならではのソフトクリームのようなものが出せばいいのかなと思う。

(回答)

当社が運営している茨城県の「こもれびの森イバライド」という所では、自家

製のソフトクリームを出しているが、こちらでは地元の農園とコラボして地域メニューを開発するノウハウを持っているので、こうしたことも次の10年間の管理運営期間の中でやらせていただきたい。

○吉村委員

飼育体験については、どのようなものが中心となるのか。また、どれくらいの人数を対象とするのか。

(回答)

飼育体験は、基本的には、乗馬営業をしている馬の飼育体験がメインとなる。馬のブラッシングだったり、年齢層を考えて馬の蹄の掃除とかそういうものを体験していただくが、基本的には1回に約10人ほどの人数でやっていきたい。あるいは5人ずつ午前と午後の2回に分けてやっていくなどしたい。

○池邊委員

これまでと同じ事業者が引き続き企画提案しているが、今回、どういう職種の方を、どのくらい増員するということは、どこを見れば分かるのか。

動物の飼育についても、植栽についても、そのあたりの増員計画のようなものが、どのくらい想定されているのかということ具体的に伺いたい。

(回答)

人数で申し上げると、常勤職員が8人、パート・アルバイトの非常勤職員15人で計画を立てている。次に、増員計画は、常勤職員については、基本的に、今いるスタッフの配置替えだったりとか、経験している職種スキルによって異動する形で考えている。

パート・アルバイトの非常勤職員については、一部臨時の学生スタッフも計画しており、臨機応変に配置していきたいと考えている。

○鈴木委員

要望だが、千葉市動物公園の場合は近隣の方は1年に何回も訪れる場所になると思われる。そうすると、事業者で運営を担っている他地域の事例なども共有していくことで、より良い動物公園にしていってほしい。

(回答)

年2回ほど弊社の管理運営をしている所長が集まる全体会議というものを行っている。そこで各施設の運営上の問題点や、逆に課題になる部分など、共有して、各施設にお伝えするようにしている。

○朝倉委員長

新たに教育普及事業というものにチャレンジするというので、市からお願いしているが、幼稚園や小学校等、福祉系の学校などへ、どのようにセールスをかけていくのか。学校からオファーがある前にこちらからぜひ来てくださいますとお声がけしないと来てくれないかと思う。小学校や幼稚園に対するセールス体制がどうなっているのか。

また、スポンサーを募っても良いと市からの応募要項にあるが、スポンサーを募るようなものがあれば、その点についても伺いたい。

(回答)

茨城県で施設運営している中で、団体専門のスタッフもあり、茨城県と千葉県は近いので、共通して団体向けの遠足だったり校外学習の受け入れをやりたいと思う。

スポンサーの件について、今の所は特に考えていない。

(2) 採点結果 525.2点/750点

評価項目	配点	得点合計
行催事等の運営に関する事項	200	140.8
乗馬広場の運営に関する事項	120	88.8
教育普及業務の運営に関する事項	130	86.4
飲食物販に関する事項	60	40.8
事業全体に関する事項	180	129.2
その他任意の提案事項	60	39.2
合計	750	525.2

※ 「動物公園子どもゾーン（ふれあい動物の里）整備・運営事業」
「企画提案項目及び選定基準」において、配点×0.6を「十分である。」としている。

(3) 評価理由

事業実施方針、実施体制、事業計画等について審査した結果、応募者は優先交渉者として認められる。

本事業者は、全国でも同様の施設を多数運営していることから、その経験を生かした新たな事業展開が期待できるとともに、新たに必須業務となった教育普及業務について、基本理念として「動物との共生を学ぶ教育普及事業の実施」を掲げ、団体指導エリアの新設・指導プログラム作成、実施体制の整備を行うなど具体的な提案が示されており、適切な業務実施が可能と考えられる。

また、これまで「子どもゾーン ふれあい動物の里」を6年半に渡り、堅実に管理運営してきており、施設運営面における安全管理が十分配慮されていること、事業者の財務状況に問題がないことなど、安定的な事業運営が可能と判断できる

ことから、優先交渉者としての適性を有するものと認められる。

(4) 意見

【要約】

- ア 良いものを残しながら、新しい提案もなされており、期待できる。ただし、無難な提案ではあるが、話題になるような特に優れた提案は見当たらなかった。ので、他施設の運営ノウハウを生かすなどして、千葉市動物公園として独自性のある魅力的な事業を行ってほしい。
- イ 現地を視察した際、全体的に洗練されていない印象を受けた。綺麗な見せ方が必要であると感じたので、四季の花壇を工夫し、動物と風景が一体となった美しい景観を作り出すなど、SNSで魅力を発信できる空間にしていきたい。また、モノレールから見た時に展望デッキが無機質に見えるため、植栽などで演出するなど工夫をした方が来園動機につながる、より魅力的な空間となるので、検討いただきたい。
- ウ 事業期間中に「ふれあい動物の里」が10周年を迎えるので、その際には園と協力して記念イベントを開催するなど来園促進に努めてほしい。
- エ 園とも協力し、千葉市の産学、地域の方と交流をして魅力づくりに取り組み、訪れた人がわくわくし、感動が得られるエリアにしてほしい。